

平成30年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会

日 時 平成30年10月17日(水)

13時00分～

会 場 瑞浪市化石博物館レクチャールーム

1. あいさつ

2. 報告事項

- 1) 平成30年度事業中間報告について

3. 協議事項

- 1) 平成31年度事業実施計画について

4. その他

- ・展示室新コーナー見学
- ・次回化石博物館協議会の開催時期について

2. 報告事項

平成30年度事業中間報告

1) 教育普及

①企画展の開催（定期展示会開催事業）

・名 称 平成30年度企画展「ホロタイプこれくしょん」

・期 間 7月14日（土）～9月30日（日）

※期間中入館者：7,613名

・名 称 ミニ展示「半分、青い。」化石たち

・期 間 4月27日（金）～9月30日（日）

※期間中入館者：15,016名

②講座等の開催

・名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）

開 催 日 毎月第1日曜日・第2日曜日（1～3月は第3日曜日）

半日コースは通年（12回）、一日コースは4～11月（8回）。

・名 称 夏の体験教室～化石マイスター養成編～

開 催 日 7月26日（木）、27日（金）、8月11日（土）

9時30分～15時

講 師 石野 沙季氏（名古屋大学大学院）：7月26、27日

西岡佑一郎氏（早稲田大学）：7月26日

村宮 悠介氏（深田地質研究所）：7月27日

高津 翔平氏（岐阜県博物館）：8月11日

加藤 萌 氏（名古屋大学大学院）：8月11日

・名 称 夏の体験教室～化石マイスター認定編～

開 催 日 8月19日（日）9時30分～15時30分

講 師 安藤 佑介

・名 称 化石を使った素敵な宝物づくり

開 催 日 5月6日（日）9時30分～11時30分、13時～15時

講 師 安藤 佑介

・名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）（応用編）

開催日 8月5日(日)

10時～12時(入門編)、13時～15時30分(応用編)

講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

③博物館実習生の受け入れ

期間 7月24日、26日から29日、8月11日(6日間)

参加者数 1名:名城大学

業務内容 収蔵庫の整理、講座の手伝いなど

⑤団体対応

団体名	対応日	人数	内容
日本技術士会中部本部	4月8日(日)	9名	展示解説・化石採集指導
国際棘皮動物学会議	6月2日(土)	16名	標本閲覧、地層見学案内
碧南海浜水族館	6月3日(日)	39名	展示解説・化石採集指導
東浦町教育委員会 子ども化石発掘体験教室	7月26日(木)	32名	化石採集指導
たじみエコカレッジ	8月3日(土)	8名	展示解説・化石採集指導
岐阜市科学館	9月17日(月)	40名	展示解説・化石採集指導
近畿地学会	9月23日(日)	10名	展示解説・化石採集指導
碧南海浜水族館	3月10日(土)	35名	展示解説・化石採集指導

⑥学校との連携

学校等団体名	対応日	人数	内容等
金城学院大学	7月8日(日)	6名	展示解説・地層見学
名古屋市立向陽高校	8月21日(火)	28名	展示解説・化石採集等
名古屋大学博物館	9月18日(火)	12名	学芸員実習(化石採集)
岐阜県教員研修	10月6日(金)	7名	化石採集、化石の鑑定指導
土岐小学校	10月10日(水)	約50名	地層観察、化石の講義
釜戸小学校	10月10日(水)	約30名	地層観察、化石の講義
瑞浪小学校	10月17日(水)	約150名	化石採集
釜戸小学校	10月17日(水)		ボーリングコア貸出し

⑦出張講座

- ・名古屋大学博物館講演会:7月7日(土)、名古屋大学博物館
- ・みずなみかたりべの会講座:10月13日(土)、文化センター

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

(1) 調査

①鹿児島県薩摩川内市（甌島）：白亜紀の貝、カニ化石

8月6日から9日にかけて鹿児島県の甌島列島を調査し、白亜紀の貝、カニ化石約20点を採取した。

(2) 研究

①学芸員の研究テーマ

- ・瑞浪北中学校工事現場から産出したクジラ類化石の活用に関する研究
(担当：安藤、群馬県立自然史博物館との共同研究、平成30年度完了予定)
- ・九州の新生界産カニ化石の研究(担当：安藤、継続中)
- ・生命の樹プロジェクト—脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
(担当：柄沢、アメリカ研究者チームとの共同研究)

②古生物データベースの更新（資料検索システム管理経費）

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。現在、約3300点の標本が登録されている。

③化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

平成31年3月に45号を出版予定である。現在5編（アメリカ1編、日本6編）の論文が投稿されている。

(3) 展示資料等の購入（展示備品等購入事業）

- ・イサナセタス古生態環境復元画：約50万円
- ・図書コーナー用書籍：約2万円

3) その他、博物館施設の充実

①展示の改装

- ・瑞浪北中学校工事現場から発見されたクジラ類化石とエゾイガイ化石を常設展示室に新コーナーを設営し、復元画とともに展示した（総事業費約100万円）。

②普及用電子機器の導入

- ・タブレットPC
来館者への説明やイベント時の説明、出張授業等で活用。1台（20万円）を購入した。これまでに講座等で約15回活用した。

資料

平成30年度入館者数

(単位：人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	平成28年度	比較
4	868	714	72	102	1,756	1,617	140
5	2,466	2,149	169	301	5,085	5,217	-135
6	646	473	77	92	1,288	1,165	123
7	923	686	124	257	1,990	2,322	-332
8	1,997	1,656	223	442	4,318	4,151	260
9	870	614	76	140	1,753	1,516	237
合計	7,770	6,292	741	1,334	16,190	15,988	202

平成30年度野外学習地利用者

(単位：人)

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	人数(H29)	比較
4	294	1013	0	0	294	1,013	889	124
5	317	1119	8	454	325	1,573	1,878	-305
6	150	472	6	205	156	677	681	-4
7	185	542	9	297	194	839	1,026	-187
8	361	1285	14	535	310	1,820	1,417	403
9	183	646	2	82	185	728	735	-7
合計	1,490	5,077	39	1,573	1,464	6,650	6,626	-24

平成30年度みずなみ化石教室参加者

(単位：人)

半日コース		一日コース		上級コース	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月22日	32	4月22日	36		
5月20日	31	5月14日	25	5月26日	8
6月10日	24	6月10日	24		
7月15日	28	7月16日	30		
9月9日	29	9月10日	18		
開催日数 5日	144	開催日数 5日	133	開催日数 1日	8
					計 285人

平成30年度各講座受講状況

(単位：人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石を使った素敵な宝物づくり	5/6	計 24 (2回)	計 30 (2回)
夏の化石教室養成編①	7/26	21	25
夏の化石教室養成編②	7/27	24	25
夏の化石教室養成編③	8/11	25	25
夏の化石教室認定編	8/19	9	20
恐竜の模型を作ろう (入門編)	8/6	23	25
恐竜の模型を作ろう (応用編)	8/6	15	15
合 計		141	155

3. 協議事項

平成31年度事業計画（案）

1) 普及活動の充実

①企画展の開催（化石博物館展示会等普及事業）

名 称 平成31年度企画展「化石になった葉っぱたち（仮）」
期 間 7月13日（土）～9月29日（日）
目 的 植物化石の世界を紹介する
展示概要 瑞浪層群をはじめ日本各地から採集された植物化石を展示し、主に新生代の日本の植生について解説する（レクチャールーム2/3を使用）。

名 称 ミニ展示
期 間 年度内に2～3回実施
展示概要 化石博物館のエントランスホールで収蔵標本を、テーマを設定して展示する。

②講座等の開催（化石博物館展示会等普及事業）

名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
概 要 小学校中学年以上を対象とし、化石博物館ボランティアの解説・指導により野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（一日コース）を行う。

開 催 日 毎月1回
定 員 半日コース：30名、一日コース：30名
参 加 費 半日コース 一般：400円、高校生以下：200円
一日コース 一般：800円、高校生以下：600円

名 称 みずなみ化石教室上級コース
概 要 少人数による化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。

開 催 日 5月25日（土）、10月26日（土）
条 件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
定 員 15名
参 加 費 一般：1000円、高校生以下：800円
（入館料、教材費、保険代含む）

名 称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
概 要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。

- 開催日 7月25日(木)、26日(金)
8月10日(土)
- 時間 9時30分から15時30分
- 定員 25名
- 参加費 一般：1,000円、高校生以下：800円
(入館料、教材費、保険代を含む)
- 講師 高津翔平氏、石野沙季氏、加藤萌氏、村宮悠介氏、当館学芸員
- 名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
- 概要 小学生4年生以上、化石マイスター養成編、化石教室上級コース修了者を対象とし、専門家の解説・指導により地層見学、柱状図作り、博物館別館で化石のレプリカ作り等を行う。
- 開催日 8月18日(日)
- 時間 9時30分から15時
- 定員 25名
- 参加費 一般：1,000円、高校生以下：800円
(入館料、教材費、保険代を含む)
- 講師 当館学芸員
- 名称 恐竜の模型を作ろう(入門編)
- 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。
- 開催日 8月4日(日)
- 時間 10時～12時
- 定員 25名
- 参加費 一般：1000円、高校生以下：800円
(入館料、教材費、保険代を含む)
- 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)
- 名称 恐竜の模型を作ろう(応用編)
- 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
- 開催日 8月4日(日)
- 時間 13時～15時30分
- 定員 20名
- 参加費 一般：1500円、高校生以下：1300円
(入館料、教材費、保険代を含む)
- 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

名 称 コハクの原石を磨こう！
概 要 瑞浪でも見つかったコハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。
開 催 日 10月27日（日）、11月24日（日）
時 間 9時30分から12時、13時から15時30分
定 員 20名
参 加 費 一般：1500円、高校生以下：1300円
（入館料、教材費、保険代を含む）
講 師 マイケル・クツ氏（コハクアーティスト）

名 称 洞窟からほ乳類化石を探そう！
概 要 洞窟の堆積物から哺乳類化石を拾い出し、種同定を行う。化石を観察し、哺乳類の進化について学ぶ。
開 催 日 11月17日（日）
時 間 9時30分から12時、13時から15時30分
定 員 20名
参 加 費 一般：800円、高校生以下：600円
（入館料、教材費、保険代を含む）
講 師 木村由利氏（国立科学博物館）

名 称 化石を使ってアクセサリーを作ろう！
概 要 ウソシジミをノジュールから取り出し、鉱物などでデコレーションしたものをレジンで封入して標本を作製する。紐を通せばネックレスにもなる。
開 催 日 12月8日（日）
時 間 10時から12時、13時から15時
定 員 各回20名
参 加 費 一般：700円、高校生以下：500円（材料費、入館料、保険代を含む）
講 師 当館学芸員

③出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概 要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要 請があつた場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらふ。また、要望があつた場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。
開 催 日 要望があつた場合は随時（要予約）
講 師 当館学芸員

対 象 小学4年～中学3年

広 報 4月に教頭会、理科教育研究部会にて広報を行う。可能であれば岐阜県の理科教育研究部会でも広報する（この場合は、館内の案内対応のみ説明する）。

④博物館実習生の受け入れ

概 要 7月下旬から1週間、実習生を受け入れる。

期 間 平成31年度は7月23日（火）から7月28日（日）を予定。

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（資料収集・調査・整理事業）

（1）調査

・北海道羽幌町：巣穴中に保存されたエビ化石の調査、採集（7月）

（2）研究（継続）

- ・九州の十脚甲殻類（エビ・カニ）化石の研究（担当：安藤）
- ・北海道産巣穴中に保存されたエビ化石の研究（担当：安藤）
- ・日本産オキナワアナジャコ属化石の再検討（担当：安藤）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究（担当：柄沢、アメリカ研究者チームとの共同研究）

②古生物データベースの更新（資料収集・調査・整理事業）

引き続き収蔵資料のデータベース登録を行う。

③化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

平成32年3月に化石博物館研究報告第46号を300部発行し、国内及び海外の博物館・研究機関等へ送付する。

（3）展示資料等の購入（資料収集・調査・整理事業、化石博物館展示会等普及事業）

①展示用化石標本等・図書類・研究用備品の購入。

- ・図書コーナー用図書：5万円
- ・北中学校から産出したイサナセタス属の立体復元模型：大きさ約50cmのイサナセタス立体復元模型を制作し、常設展示室のクジラ化石コーナーに設置。模型をもとに大型の展示標本を複製することも可能であるため、将来の展示替えを見据えた導入である。製作費約40万円
- ・クリーニング用コンプレッサー：みずなみ化石教室などで化石のクリーニ

ングを行うため。約20万円

4. その他

(1) 展示室の新コーナー見学

(2) 次回協議会について